

[https://blogs.oracle.com/wlc/entry/%E9%80%A3%E8%BC%89\\_weblogic\\_server\\_12\\_c%E3%81%A7java\\_ee1](https://blogs.oracle.com/wlc/entry/%E9%80%A3%E8%BC%89_weblogic_server_12_c%E3%81%A7java_ee1)

[https://blogs.oracle.com/wlc/entry/%E9%80%A3%E8%BC%89\\_weblogic\\_server\\_12\\_c%E3%81%A7java\\_ee2](https://blogs.oracle.com/wlc/entry/%E9%80%A3%E8%BC%89_weblogic_server_12_c%E3%81%A7java_ee2)

## はじめに

### 特徴

#### UI コンポーネント

JSF では、ボタンや入力フォームなどユーザー・インタフェースを構成する部品を「UI コンポーネント」として提供しています。

ビューはこの UI コンポーネントを配置し、xhtml として作成する。

#### イベント・ドリブン

UI コンポーネントは、「ボタンが押された」「テキスト・フィールドの値が変わった」といった「イベント」を処理する機能を提供します。このイベント・ドリブンなプログラミング・モデルを採用した JSF は、HTTP リクエスト / レスポンスを強く意識する必要があった旧来の Web アプリケーションよりも、Ajax を活用しやすいです。

## JSF

### サンプル

### 環境

#### ディレクトリ構成

IDE を利用する場合はあまり気にしない。

IDE を使わない場合は、以下のようなディレクトリ構成が良いと思う。

```
[app root]
|-- WebContent
|   |-- META-INF
|   |   |-- MANIFEST.MF
|   |-- WEB-INF
|   |   |-- faces-config.xml
|   |   |-- lib
|   |   |-- web.xml
|   |-- game.xhtml
|   |-- index.xhtml
|   |-- template.xhtml
|-- build
|-- classes
|-- src
|   |-- jsf_test
|   |   |-- Answer.java
|   |   |-- GameBean.java
|   |   |-- UserBean.java
|   |-- resources
|       |-- application_ja.properties
```

### 基本

## テンプレート

template.xhtml

index.xhtml

## コンポーネント UI と Beans

index.xhtml (一部変更)

UserBean.java

## ページナビゲーション

game.xhtml

index.xhtml 変更